

(表)

峰山消防署長		様		年 月 日	
		住所		電話	
		申告者 職業(職)			
		氏 名			
車両・船舶・航空機・林野・その他り災申告書					
1	り 災 年 月 日	年 月 日	り災物件と申告者との関係	所有者・管理者・占有者	
	り 災 場 所				
2 車 両	運 転 者 氏 名		購 入 月 日		
	用 途 別		購 入 金 額		
	車 両 番 号		年 式		
	焼 け た 箇 所	消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		そ の 他	
3 船 舶 ・ 航 空 機	船 長 ・ 機 長 名		船 名 ・ 機 名		
	用 途 ・ 機 種		就 航 年 月		
	トン数・最大離陸重量		購 入 金 額		
	焼 け た 箇 所	消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		そ の 他	
4 積 載 物	焼 け た 箇 所	消火のため濡れた、汚れた、壊れた箇所		そ の 他	
	り 災 物 件 と の 関 係	所有者・管理者氏名			
5 林 野 ・ そ の 他	林野焼損面積	アール	所有別	国有・府有・市有・私有・その他 ()	
	その他の物件	焼 け た 箇 所		濡れた、汚れた、壊れた箇所	
6	火災保険契約会社名			保険金額	

(裏)

車両・船舶・航空機・林野・その他り災申告書記載要領

(1の欄)

- 1 り災物件と申告者との関係は、当てはまるものを○で囲んでください。
- 2 り災した場所の欄は、車両等が火災になった場所を記入してください。

(2の欄)

- 1 用途別の欄には、貨物、貨物乗用、タクシー、乗合バス、機関車、客車等の別を記入してください。
- 2 車両番号の欄は、陸運局に届け出ている車両登録番号等を記入してください。

(3の欄)

用途・機種別の欄には、客船、貨物船、旅客機、観測機、練習機等の別を記入してください。

(4の欄)

積載物の欄には、損害を受けた物の品名と時価に見積もった損害額を記入し、また、申告者と積載物の所有者等が異なる場合にのみ記入してください。

(5の欄)

所有別でその他に該当する場合は、()内に具体的に記入してください。

(6の欄)

車両等の火災保険に加入している場合のみ記入してください。

備考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 3 あなたに連絡する場合の連絡先の電話がありましたら、その電話番号を記入してください。
- 4 火災によるり災証明を発行する場合、この申告書が出ていると早く発行することができます。
- 5 この申告書でわからないことがありましたら、下記消防署まで御連絡ください。

峰山消防署

分署

分遣所

電話

—0119